

(毎月分配型)

第36期末 (2016年2月22日)	
基準 価 額	8,841円
純 資 産 総 額	58,509百万円
第31期 ~ 第36期	
騰 落 率	△22.2%
分配金 (税込み) 合計	720円

(3ヵ月決算型)

第11期末 (2016年2月22日)	
基準 価 額	7,261円
純 資 産 総 額	12,849百万円
第10期 ~ 第11期	
騰 落 率	△22.2%
分配金 (税込み) 合計	0円

(年2回決算型)

第6期末 (2016年2月22日)	
基準 価 額	11,207円
純 資 産 総 額	18,772百万円
第6期	
騰 落 率	△22.3%
分配金 (税込み) 合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)(3ヵ月決算型)(年2回決算型)

追加型投信/海外/資産複合

交付運用報告書

(毎月分配型)

第31期(決算日2015年9月24日) 第32期(決算日2015年10月20日)
第33期(決算日2015年11月20日) 第34期(決算日2015年12月21日)
第35期(決算日2016年1月20日) 第36期(決算日2016年2月22日)

(3ヵ月決算型)

第10期(決算日2015年11月20日) 第11期(決算日2016年2月22日)

(年2回決算型)

第6期(決算日2016年2月22日)

作成対象期間(2015年8月21日~2016年2月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)(3ヵ月決算型)(年2回決算型)」は、2016年2月22日に決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00~17:00)

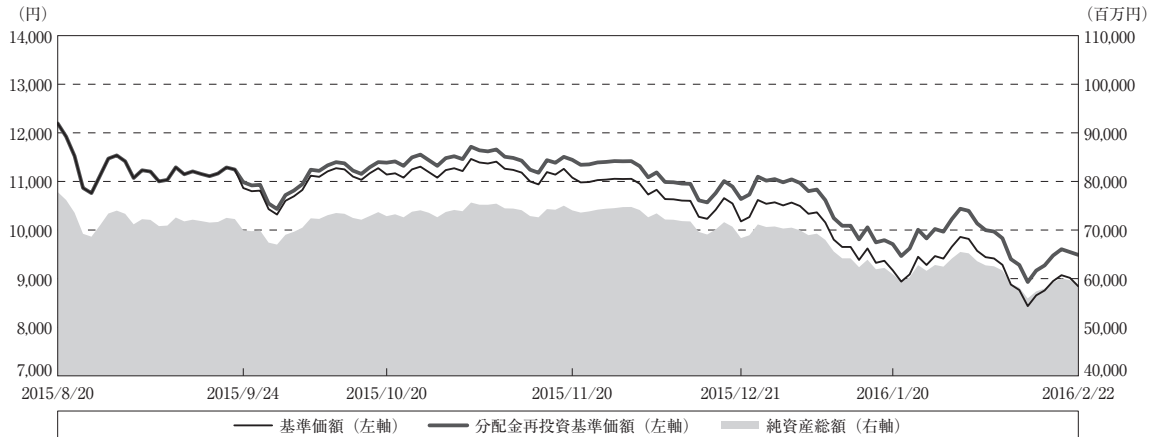
<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

作成期間中の基準価額等の推移

（2015年8月21日～2016年2月22日）



第31期首：12,194円

第36期末：8,841円（既払分配金（税込み）：720円）

騰落率：△22.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2016年2月22日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は8,841円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス22.2%（分配金再投資ベース）、基準価額は2,633円（分配金込み）下落しました。

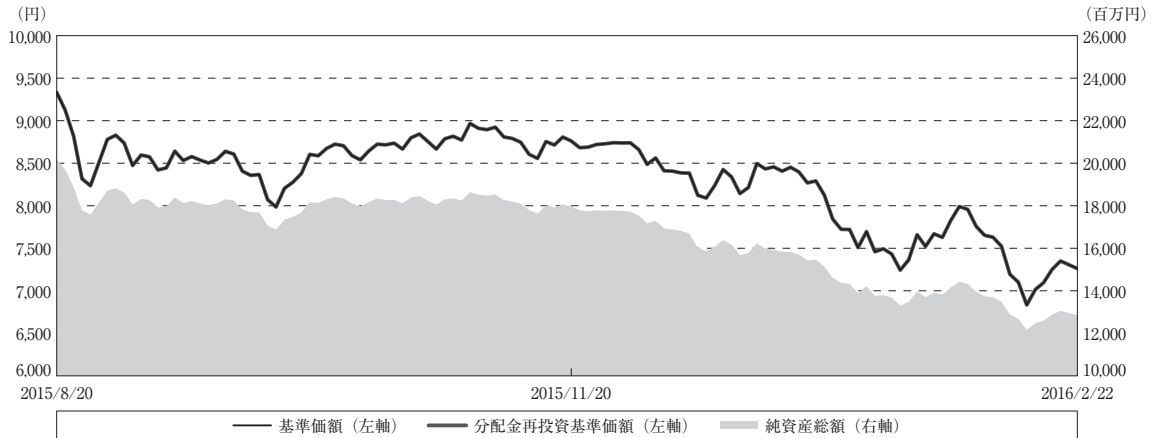
株式市場等の下落を背景に、株式要因はマイナスとなりました。為替要因についても、米ドル安・円高を背景にマイナスとなりました。

運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

作成期間中の基準価額等の推移

（2015年8月21日～2016年2月22日）



第10期首：9,333円

第11期末：7,261円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△22.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2016年2月22日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は7,261円となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス22.2%、基準価額は2,072円下落しました。

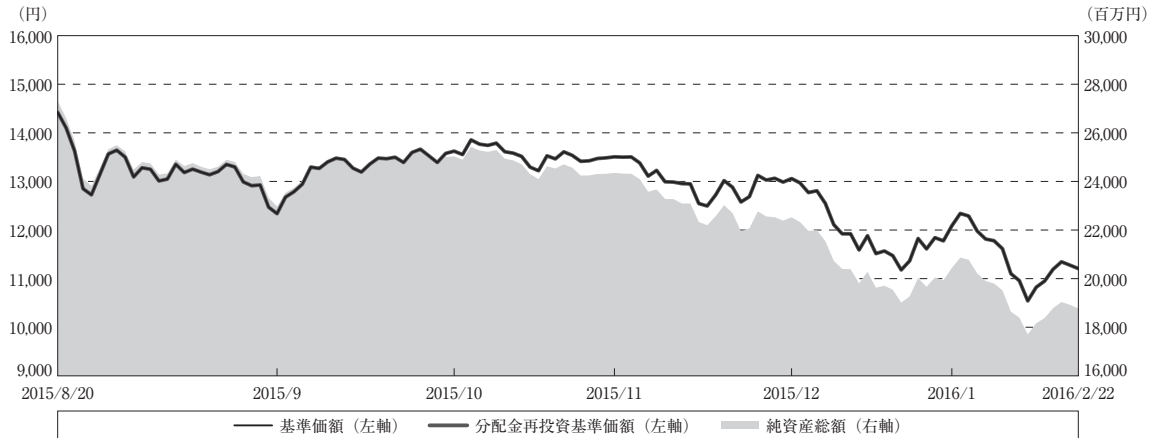
株式市場等の下落を背景に、株式要因はマイナスとなりました。為替要因についても、米ドル安・円高を背景にマイナスとなりました。

運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

期中の基準価額等の推移

（2015年8月21日～2016年2月22日）



期首：14,421円

期末：11,207円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△22.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2015年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

期末（2016年2月22日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は11,207円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス22.3%、基準価額は3,214円下落しました。

株式市場等の下落を背景に、株式要因はマイナスとなりました。為替要因についても、米ドル安・円高を背景にマイナスとなりました。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

1 万口当たりの費用明細

（2015年8月21日～2016年2月22日）

項 目	第31期～第36期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 103 (50) (50) (2)	% 0.955 (0.467) (0.467) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (MLP)	3 (1) (0) (2)	0.030 (0.010) (0.001) (0.019)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他1) (その他2)	6 (0) (0) (0) (5) (0)	0.054 (0.005) (0.001) (0.001) (0.047) (0.001)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し） 権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	112	1.039	
作成期間の平均基準価額は、10,733円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

1 万口当たりの費用明細

（2015年8月21日～2016年2月22日）

項 目	第10期～第11期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 81 (39) (39) (2)	% 0.955 (0.467) (0.467) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (MLP)	2 (1) (0) (1)	0.028 (0.010) (0.001) (0.017)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他1) (その他2)	5 (0) (0) (0) (4) (0)	0.055 (0.005) (0.003) (0.004) (0.043) (0.001)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し） 権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	88	1.038	
作成期間の平均基準価額は、8,442円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

1万口当たりの費用明細

（2015年8月21日～2016年2月22日）

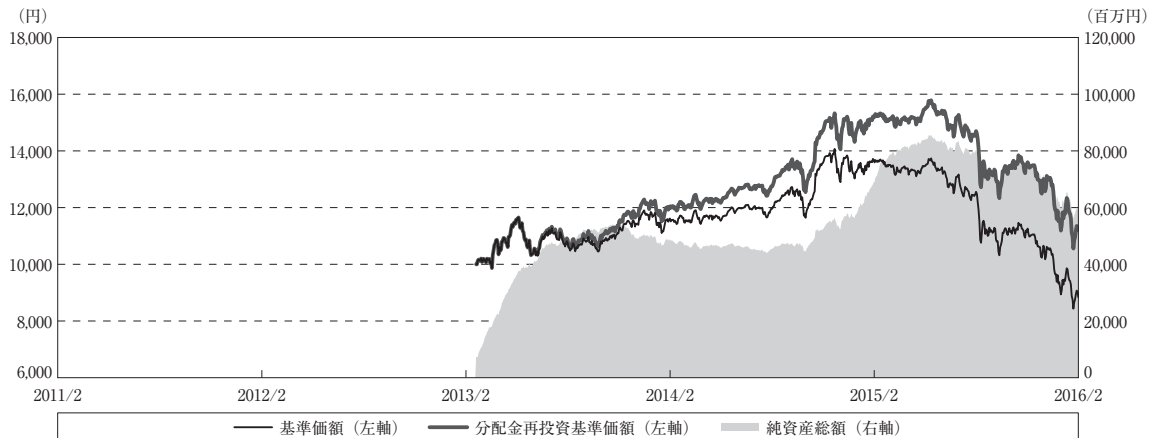
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 125 (61) (61) (3)	% 0.955 (0.467) (0.467) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資証券) (MLP)	4 (2) (0) (2)	0.029 (0.010) (0.001) (0.018)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用) (その他1) (その他2)	8 (1) (0) (0) (6) (0)	0.061 (0.005) (0.003) (0.003) (0.049) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 MLP投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し） 権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	137	1.045	
期中の平均基準価額は、13,042円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

最近5年間の基準価額等の推移

（2011年2月21日～2016年2月22日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月8日です。

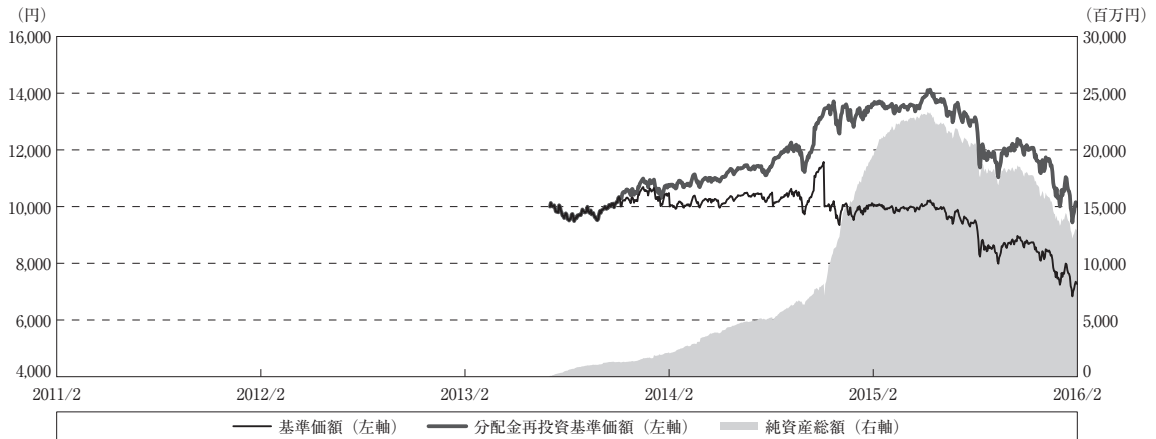
	2013年3月8日 設定日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日	2016年2月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,514	13,594	8,841
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	450	910	1,440
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.9	26.8	△26.3
純資産総額 (百万円)	7,244	48,306	69,068	58,509

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年2月21日～2016年2月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年7月19日です。

	2013年7月19日 設定日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日	2016年2月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,002	10,008	7,261
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	710	2,520	160
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.2	26.9	△26.3
純資産総額 (百万円)	85	2,055	19,506	12,849

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

最近5年間の基準価額等の推移

（2011年2月21日～2016年2月22日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかなどについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月8日です。

	2013年3月8日 設定日	2014年2月20日 決算日	2015年2月20日 決算日	2016年2月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,992	15,225	11,207
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.9	27.0	△26.4
純資産総額 (百万円)	5,684	29,903	30,166	18,772

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2014年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

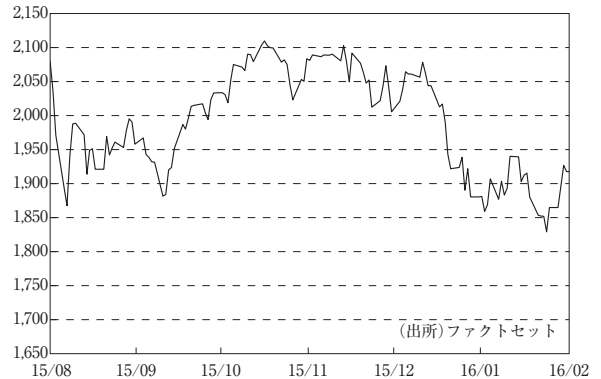
投資環境

（2015年8月21日～2016年2月22日）

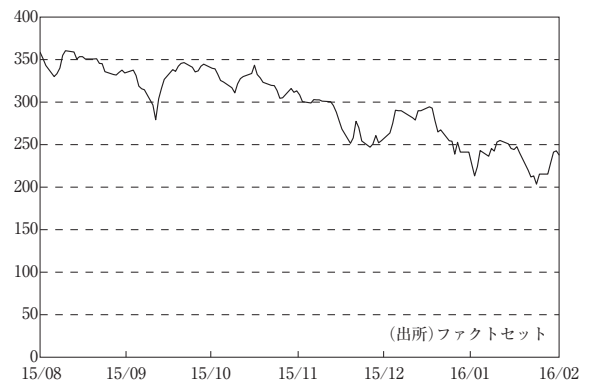
当作成期の米国株式相場は、下落しました。期の前半は、中国人民銀行による人民元切り下げの発表を受けて中国景気の先行き不透明感が広がり、株式相場が世界的に下落したことから、米国の株式相場も大きく下落して始まりました。しかし、その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）による早期利上げの可能性は薄れたとの見方が広がったことなどから、株価は持ち直す展開となりました。期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和期待が広がったことや、中国人民銀行が追加金融緩和に踏み切ったことなどが好感され、株価は堅調地合いとなりました。しかし、その後は、FRBによる早期の利上げ開始が改めて意識されたことや、原油価格が下落基調で推移したことなどから、株価は上値の重い展開となりました。期の後半は、世界経済の先行き不透明感が強まったことや、原油価格の下落が続いたことなどから、世界的な株安が進む中、米国株式市場でも売り圧力が強まりました。しかし、作成期末にかけては、原油価格が下げ止まったことなどから、米国株式市場における売り圧力も和らぐ展開となりました。

当作成期のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場は、下落しました。期の前半は、中国景気の先行き不透明感などを背景に世界的な株安が進行し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、MLP市場は軟調となりました。しかし、株式市場全体が反発すると、MLP市場も持ち直しました。期の半ばは、原油価格が下落基調で推移し、エネルギー・セクター全体に対する投資家の慎重姿勢が広がったことなどから、MLP市場は軟調となりました。FRBによる早期の利上げ開始が意識されたことも、マイナス要因となりました。期の後半は、原油価格の低迷が続く中、エネルギー・セクター全体に対する投資家心理が悪化し、MLP市場は下値を探る展開となりました。

米国S&P 500指数の推移



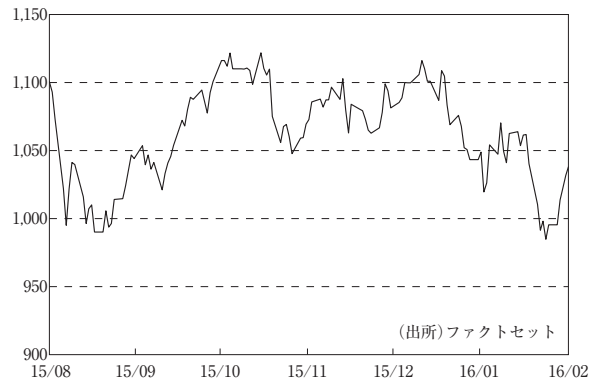
アレリアンMLP指数の推移



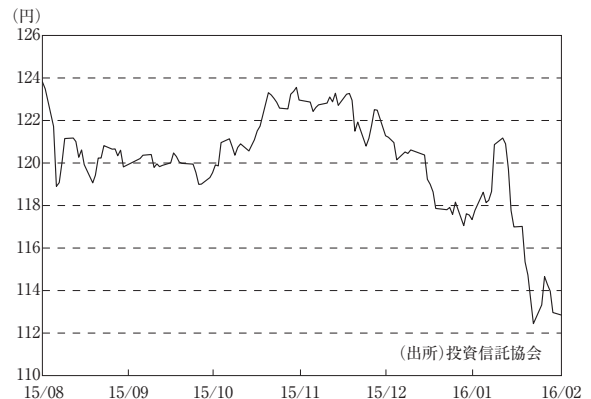
当作成期のREIT（リート）市場は、下落しました。期の前半は、中国経済の減速懸念などを背景に世界的な株安が進み、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リート市場は大きく下落しました。しかし、その後は、FRBによる早期の利上げ観測が後退したことなどが好感され、リート市場は堅調となりました。期の半ばは、FRBによる早期の利上げ開始観測が改めて広がったことなどから、リート市場は下落しました。その後も、原油安などを背景にリスク回避姿勢が意識されたことから、リート市場は上値の重い展開となりました。期の後半は、世界的な株安や原油価格の下落が進行し、リスク回避姿勢が強まったことから、リート市場は軟調となりました。ただし、作成期末にかけては、FRBによる利上げペースが当初の想定よりも緩やかになるとの見方が広がったことなどから、リート市場は反発しました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。期の前半は、世界的に株式相場が下落する中、米国株式相場も大幅に下落したことから、リスク回避に伴う米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後も、FRBによる利上げの開始が先送りされるとの見方が出たことなどから、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。期の半ばは、FRBによる年内の利上げ開始の可能性が改めて意識されたことなどから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後は、原油価格が下落し、リスク回避姿勢が意識されたことから、米ドルは再び上値の重い展開となりました。期の後半は、世界的な株安および原油安が続く中、リスク回避姿勢が強まったことから、米ドル売り・円買いが強まりました。その後、日銀によるマイナス金利の導入を受けて、米ドルは反発する場面も見られましたが、世界的な金融市場の混乱が続く中、円に対して大きく下落する展開となりました。

MSCI US REIT指数の推移



米ドル/円レートの推移



その後、日銀によるマイナス金利の導入を受けて、米ドルは反発する場面も見られましたが、世界的な金融市場の混乱が続く中、円に対して大きく下落する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年8月21日～2016年2月22日)

当ファンドは、主に「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着眼してポートフォリオの構築を行いました。

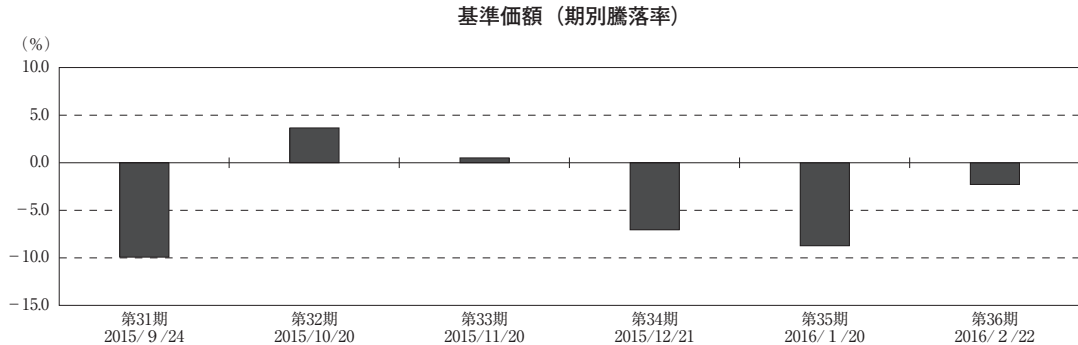
< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年8月21日～2016年2月22日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

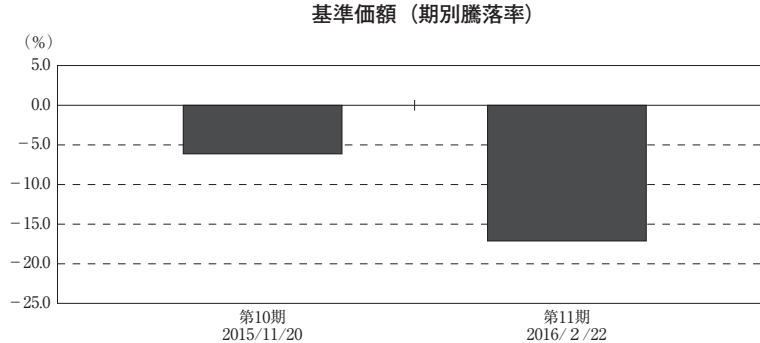
< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年8月21日～2016年2月22日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

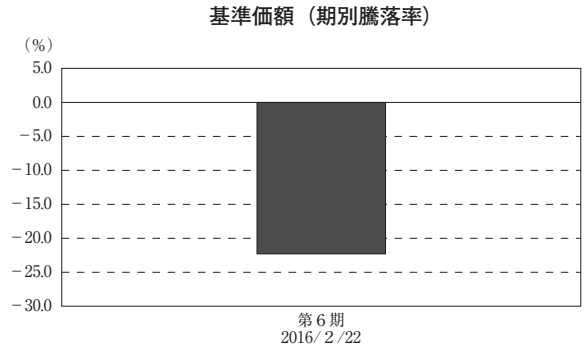
< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年8月21日～2016年2月22日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2015年8月21日～2016年2月22日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期
	2015年8月21日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月20日	2015年10月21日 ～2015年11月20日	2015年11月21日 ～2015年12月21日	2015年12月22日 ～2016年1月20日	2016年1月21日 ～2016年2月22日
当期分配金	120	120	120	120	120	120
（対基準価額比率）	1.092%	1.066%	1.072%	1.165%	1.292%	1.339%
当期の収益	22	15	45	22	0	37
当期の収益以外	97	104	74	97	119	82
翌期繰越分配対象額	3,326	3,221	3,148	3,052	2,933	2,851

LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第10期	第11期
	2015年8月21日 ～2015年11月20日	2015年11月21日 ～2016年2月22日
当期分配金	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	205	250

LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第6期
	2015年8月21日 ～2016年2月22日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,193

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

米国経済に関しては、2015年10－12月期のGDP成長率（速報値）が前期比年率プラス0.7%と、2015年7－9月期（同プラス2.0%）から鈍化しました。ただし、堅調な雇用情勢などを背景に、米国経済は依然底堅く、今後も緩やかな成長基調を辿るものと予想されます。

金融政策については、FRBは2015年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において政策金利の引き上げを決定し、金融政策の正常化に着手しました。ただし今後については、経済動向を見極めながら、慎重に追加利上げの時期を探っていくものと思われま

す。株式市場については、米国経済が緩やかな拡大基調を続けると見込まれる中、株価は底堅く推移するものと予想されます。ただし、FRBによる金融政策および海外経済の動向には引き続き注意が必要です。

MLP市場については、中長期的に強気の見方を維持しています。米国における余剰生産が稼働リグ（掘削装置）数の減少によって低下してきた結果、今後、エネルギー需給のバランスが改善に向かうことが期待されます。また、長期投資家にとってMLP市場のバリュエーションは非常に魅力的な水準にあるとみています。

リート市場については、米国経済が緩やかな成長基調にあることなどから、投資対象として魅力的であるとみています。

為替相場については、米国経済が緩やかな成長基調を継続すると予想される一方、日本では日銀が積極的な金融緩和姿勢を継続していることから、米ドルは対円で底堅く推移するものと考えております。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

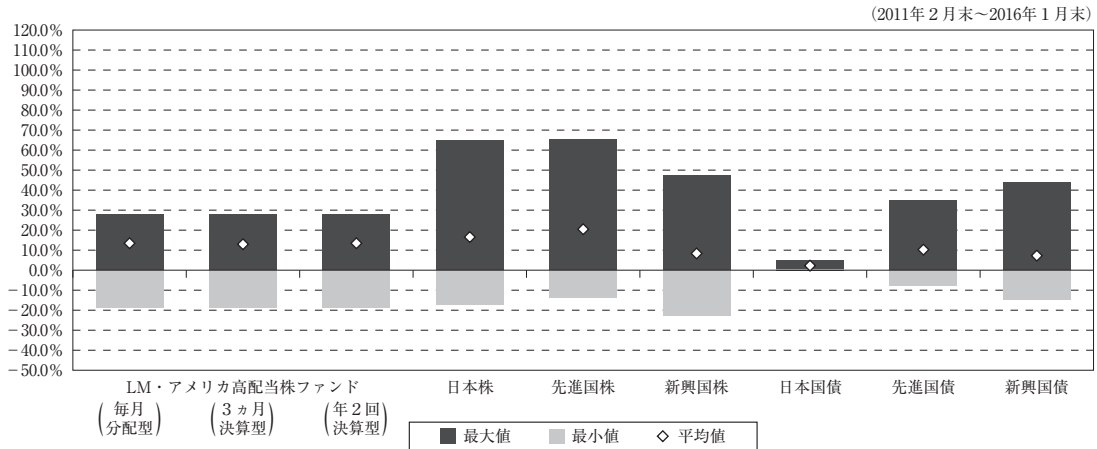
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	当ファンド (毎月分配型) (年2回決算型)	平成25年3月8日～平成35年2月20日まで
	当ファンド (3ヵ月決算型)	平成25年7月19日～平成35年2月20日まで
運用方針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	(毎月分配型)	原則として毎月20日。
	(3ヵ月決算型)	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	(年2回決算型)	原則として毎年2月20日および8月20日。
	上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (3ヵ月決算型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.9	28.0	28.0	65.0	65.7	47.4	4.9	34.9	44.1
最小値	△18.5	△18.5	△18.5	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△7.5	△14.6
平均値	13.5	13.0	13.5	16.6	20.5	8.4	2.3	10.3	7.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年2月から2016年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）およびLM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）は2014年3月以降、LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）は2014年7月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） >

組入資産の内容

(2016年2月22日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第36期末
	%
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	101.5
組入銘柄数	1銘柄

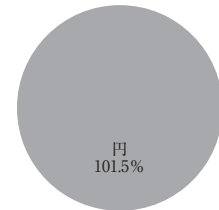
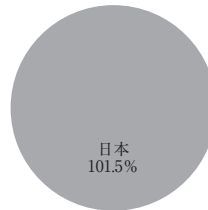
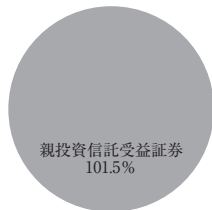
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末	第36期末
	2015年9月24日	2015年10月20日	2015年11月20日	2015年12月21日	2016年1月20日	2016年2月22日
純資産総額	69,935,214,653円	72,850,942,183円	74,048,051,257円	68,343,094,401円	60,901,284,873円	58,509,201,075円
受益権総口数	64,373,520,193口	65,384,657,278口	66,837,223,095口	67,146,337,831口	66,412,378,857口	66,182,223,643口
1万口当たり基準価額	10,864円	11,142円	11,079円	10,178円	9,170円	8,841円

* 当作成期間（第31期～第36期）中における追加設定元本額は12,874,802,911円、同解約元本額は10,517,055,796円です。

当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

組入資産の内容

(2016年2月22日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	100.6%
組入銘柄数	1銘柄

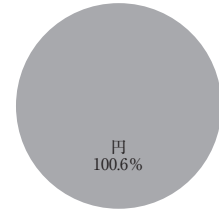
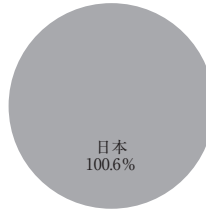
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第10期末	第11期末
	2015年11月20日	2016年2月22日
純資産総額	17,965,991,818円	12,849,242,743円
受益権総口数	20,507,702,358口	17,696,608,244口
1万円当たり基準価額	8,761円	7,261円

* 当作成期間（第10期～第11期）中における追加設定元本額は222,727,087円、同解約元本額は4,147,468,768円です。

当ファンドのデータ

< L M・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

組入資産の内容

（2016年2月22日現在）

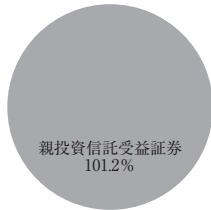
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
L M・アメリカ高配当株マザーファンド	101.2%
組入銘柄数	1銘柄

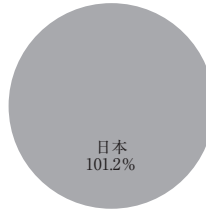
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

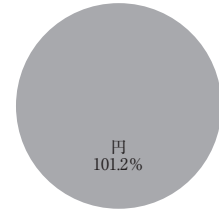
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

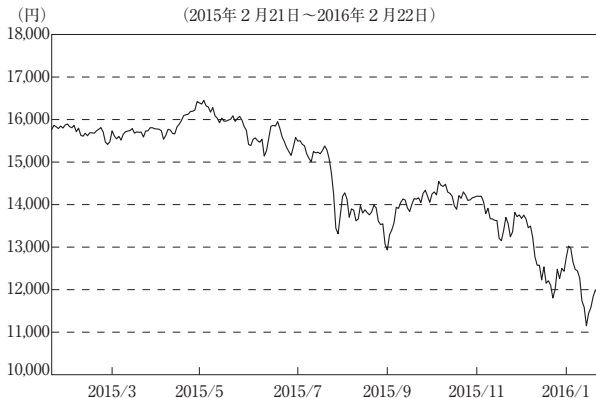
項目	第6期末
	2016年2月22日
純資産総額	18,772,718,843円
受益権総口数	16,750,989,364口
1万口当たり基準価額	11,207円

* 期中における追加設定元本額は1,200,252,373円、同解約元本額は3,379,081,506円です。

組入上位ファンドの概要

LM・アメリカ高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年2月21日～2016年2月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株投)(M) (株式証券)	7円 (2) (1) (4)	0.045% (0.016) (0.004) (0.025)
(b) 有価証券取引税 (株投)(M) (株式証券)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管のその他)	14 (1) (1) (2) (0)	0.094 (0.009) (0.084) (0.001)
合計	21	0.139

期中の平均基準価額は、14,735円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

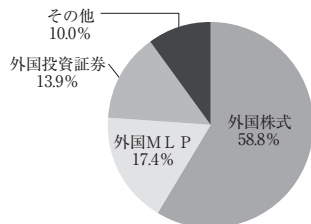
【組入上位10銘柄】

(2016年2月22日現在)

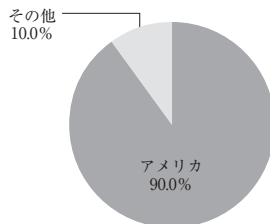
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 LOCKHEED MARTIN CORP	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	3.9%
2 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	3.5
3 KIMBERLY-CLARK CORP	生活必需品	米ドル	アメリカ	3.4
4 ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.2
5 ENERGY TRANSFER PARTNERS LP	MLP	米ドル	アメリカ	3.0
6 REGAL ENTERTAINMENT GROUP-A	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	2.8
7 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.6
8 AT&T INC	電気通信サービス	米ドル	アメリカ	2.6
9 VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	米ドル	アメリカ	2.5
10 MERCK & CO. INC.	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	2.5
組入銘柄数		75銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

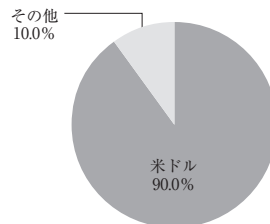
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。